

農事組合法人 百姓倶楽部

組織と事業のご案内



2017 年度版

食品リサイクル・ループの形成と
自然的農法の実践



代表挨拶—百姓倶楽部とは？

百姓倶楽部は、農業者のやりたいことを実現しよう、という考えから誕生しました。高度成長期に求められた、生産性だけを追及するような農業ではなく、農産物が本来持っている自然の力を生かすにはどうすればいいのだろうか、と考え、消費者が求める農産物を育てよう、という観点から、農業者が自由に活動できる環境作りを目指しています。

1. 農業者の集まりとして

百姓倶楽部は、やる気のある農業者が集まり、倶楽部的な活動を通じて、自分たちが成長していけるような組織作りを考えています。

他から強制されるのではなく、自分の発想で活動していく、そんな個人が集まって組織になっていく、それが百姓倶楽部だと考えてます。

2. 土づくり

農業の基本は土、だと思います。

戦後の経済成長に合わせ、農業も生産性が追及されました。それ自体は素晴らしいことですが、そのなかで「土」の役割が忘れられてしまいました。本来「土」が農作物を育てるのに、まるで化学肥料によって育てられるような錯覚をしてしまいました。

百姓倶楽部では、「土づくり」も、仕事のひとつと考えています。

同じ農産物でも、「地力」のある農地と「地力」の無い農地では、味・成分などが違ってきます。農産物は形や見た目のよさ、ではなく、味や成分がいのちです。

堆肥を使って肥沃な農地を作っています。

3. 「食」のリサイクル・ループ

堆肥作りは、農業者の大事な仕事、です。

百姓倶楽部では、堆肥センター事業を通じて、地域の生ゴミを農地に還元し、安心・安全な農産物へと生まれ変わらせる、そんな活動をしています。

堆肥は土づくりの基本ですから、自分たち自らが良い堆肥を作ることで、農地は豊かになっていき、美味しい農作物が育ちます。

百姓倶楽部では、スーパーマーケット「カスミ」さまや、社団法人日本フードサービス協会「JF」さまなど、日本を代表する「食」の産業と提携することで、「食」のリサイクル・ループを実現しています。

百姓倶楽部では、以上のような活動を通じて「地産地消」を可能にし、持続性のある農業を創っています。

農事組合法人百姓倶楽部
代表理事 石島和美

組織のご案内

法人名	農事組合法人 百姓倶楽部
設立	平成9年4月
住所	〒304-0004 茨城県下妻市大字大木 1028-1
資本金	500万円
理事人数	3名
代表理事	石島 和美
組合会員	約50名（組合生産農家）
従業員数	5名（パート従業員を含む）
事業内容	農産物の販売 食品廃棄物を原料とする堆肥の生産販売

事務所・連絡先

住所	〒304-0004 茨城県下妻市大木 1028-1
TEL/FAX	0296-44-0880
電子メール	kurabu@cube2003.net
ホームページ	http://www.cube2003.net/~kurabu/
定休日	毎週日曜日

主たる事業のご案内

1. 農産物の生産販売
土作りを基本とした自然的農法による、農作物の生産および販売を行う事業。
売上実績 約2,000万円（2016年度）（百姓倶楽部ブランドの売上）
2. 堆肥センターの運営
動植物性残渣である生ゴミを原料とした、堆肥の製造・販売事業。
売上実績 約4,000万円（2016年度）（堆肥の出荷100トン/1ヶ月）
3. 食品リサイクル・ループ形成事業
生ゴミなどの食品循環資源の再利用を行い、推進する事業。

生産圃場と組合員の紹介-1

<野菜>

野菜の生産には、30名以上の組合員が取り組み、安心・安全な野菜を提供しております。定番である小松菜やほうれん草などのほか、トマトなど、地域に合った品目を生産しております。また、季節に応じて、里芋や白菜など、新鮮な野菜をお届けしています。



野菜の育成には、「良い土」が欠かせません。

我々の生産圃場には、堆肥センターで作った生ゴミ堆肥が使用されています。よい堆肥でよい土が作られ、安心・安全な農産物が育ちます。

<果樹>

果樹の生産は、豊富な経験を持つ組合員が生産を担当しております。果樹は、その品目に合わせた農地作りが欠かせません。時間をかけて丁寧に仕上げた農地から、独特の甘みや美味しさを持った果実が生産されています。ナシやメロンなど、「美味しい」をお届けします。



果樹は、木や苗の生育環境を整えることが一番です。

そのための土作りは、農業の基本です。化学肥料を与えただけでは、よい土は作れません。土壌は生き物です。その年、その時々に合わせて、きちんと土を作ってあげることが、よい農産物を育てる基本です。

生産圃場と生産農家の紹介-2

<米穀類>

米穀は、お米や麦のほか、古代米（赤米・緑米）や雑穀（ひえ・粟）など、幅広く生産しております。また、そばや大豆などもご提供しております。肥沃な大地から、安心・安全な農産物が生まれます。いつでも、美味しい米穀を食卓にお届けしています。



美味しいお米には、豊かな大地と水が必要です。我々の生産圃場では、化学肥料を一切使用しない栽培も行われ、堆肥による土作りの成果が美味しい農産物として、消費者の皆様へご提供しております。

毎年、田植え前には大量の堆肥が農地に投入されています。堆肥は土の栄養となり、豊かな大地を作ってくれます。

農作物のご提供先に関して

百姓倶楽部の農作物は、以下の場所で購入・賞味していただけます。

1. スーパーマーケット「カスミ」の直販コーナー
茨城県下妻市のカスミ店舗直販コーナーにて、販売しております。
2. 地元居酒屋・レストランなど
地域の食材として採用されております。
3. 足立区内での移動販売車
東京都足立区の主に伊興地区でワンボックスによる移動販売を行っています。
4. 浦安市の「下妻ふぁ～む」
新浦安駅前を下妻の農産物を販売しています。

百姓倶楽部の「食品リサイクル・ループ」

2002年に開始された生ゴミの堆肥化事業



百姓倶楽部では、スーパーマーケットや外食産業から排出される生ゴミを、堆肥化する事業を行っています。
生ゴミは堆肥となって生まれ変わり、農作物を育てる基本である「土作り」に利用されています。
食品リサイクルループの形成事業は、生ゴミの排出事業者と、農作物生産者が共同で行っている事業です。



百姓倶楽部のグループ組織

百姓倶楽部は農業者の集まりです。関連する事業内容によって、いくつかのグループ組織を運営しています。

<県西ヘリコプター>

空中防除を主とした大型ラジコンヘリコプターを派遣する事業を行っています。農業後継者の収入補助として、ドリフト（余分な飛散）の少ない防除が可能です。

<百笑市場>

農産物や加工食品の販売を担当する組織です。2016年からは、茨城県産米のアメリカ向け輸出も行っています

堆肥センターの生ゴミ受け入れに関して

堆肥センターでは、一般廃棄物・産業廃棄物の動植物性残渣を受け入れています。

スーパーマーケットや、レストランの食べ残しなど、きちんとした分別と鮮度管理が行われている生ゴミなら、基本的に何でも受け入れています。

食品リサイクル法によって、食品関連事業者は一定規模でのリサイクルを行うことが法令で定められております。百姓倶楽部下妻堆肥センターにて、受け入れた生ゴミは100%堆肥化されていますので、安心して生ゴミを搬入していただけます。

登録再生利用事業者としても登録されております。

組合員の募集および新規就農者の募集

百姓倶楽部では、組合員と新規就農者を常時募集しております。

土作りの農業を理解していただき、やる気のある農業者なら大歓迎です。また募集は、茨城県県西地域とは限定しておりません。全国どこでも、百姓倶楽部の考える農業を実践していただける方なら、組合員になっていただけます。

「せっかくよい農産物を育てても、他の生産者と区別してもらえない」などの悩みをお持ちなら、百姓倶楽部に参加してください。消費者の皆様はあなたの育てた農産物を待っています。私ども百姓倶楽部が、販売ルート作りのお手伝いをしております。

新規就農を希望される方も是非一度ご相談ください。